

菊川林研が森林体験学習を実施

菊川町林業研究会が檜崎小で森林体験学習を実施

分類：新着ニュース, 林業

登録日：平成 29 年 2 月 15 日 | 下関農林事務所森林部

菊川町林業研究会は、平成29年2月7日(火)に下関市立檜崎小学校で森林体験学習を実施しました。今回は、校庭に植えてある樹木に、5年生の児童17人が40枚の樹名板を設置しました。樹名板は緑の募金事業により無償配布された県内産ヒノキの無垢材で、児童一人ひとりが自分で選んだ樹木名を事前書き込んで準備したものです。

当日は、菊川林研の会員7人が参加し、最初に松田会長が森林の働きや大切さについて話をした後、下関農林事務所の職員が校庭に植えてある木の名前や樹木観察のポイントを説明しました。その後に児童は校庭に出て、林研会員に手伝ってもらいながら、自分が書いた名前の樹木に樹名板を結び付けていきました。最後に校庭の植え込みの中央にあるヒマラヤスギの前に全員が集合して、記念写真をとって体験学習を終えました。

今回取り付けた樹名板には児童が自分の名前も書き込んでおり、短い時間でしたが児童にとっては思い出に残る体験となり、森林や林業に関心をもつきっかけになったようでした。



しっかり結んでね。



全員で記念写真

問合せ先

メール：a171074@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1182